

NPO 法人レッドリボンさっぽろ 2022 年度活動内容報告

1. エイズ電話相談

毎週火曜日 19:00～22:00 にフリーダイヤルにて実施しています。長引く緊急事態宣言やまん延防止措置により 2022 年度の相談件数は 2021 年度から 15 件減少し 195 件となりました。新しい予防方法である PrEP や PEP に関する相談も増えています。

(画像はイメージです)

また、2022 年度は例年助成頂いている札幌市さばーとほっと基金の一部を活用し、エイズ電話相談の広報資材も作成いたしました。

2022 年度は久しぶりに相談員の勉強機会を実施しました。勉強会のテーマは生命保険の種類や告知義務についてでした。



2. キルト製作

活動メンバーの多くが高齢のため、長引く緊急事態宣言等で、2022 年度も大半を各自自宅での製作となりました。製作した作品は、オークションや個人売買をし、収益をアフリカにて HIV 陽性者や遺児支援を行う NPO 法人 PLAS 様に寄附しています。

(画像は 2018 年に撮影したものです。)



3. HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO

HIV 陽性者の相談場所のひとつとして、そしてコミュニケーションの場として HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO を開催しています。2022 年度は札幌のほか地方開催として 6/18(土)に函館、10/15(土)に帯広・2/18(土)に旭川を計画しましたが、帯広・旭川は申し込みがなく開催を中止しました。また札幌で実施予定だった 8/20 は緊急事態宣言発令のため中止をしたため、結果 3 回の開催となりました。(画像は 2020 年 2 月撮影)

(参加人数 4/16(札幌):7 名、6/18(函館):5 名、12/17(札幌):8 名)



4. エイズ出前授業の実施

11月16日（水）知床町立知床ウトロ学校と
12月1日（木）江別市立江別第二中学校にて
エイズ出前授業を実施しました。
知床ウトロ学校様では7～9年生（中学1～3年生）
24名と、教職員の皆さまに、
江別第二中学校様では中学3年生77名において実
施しました。



5. HIV 陽性者と語ろうオンラインイベントへの登壇

10月1日（土）仙台のHIVコミュニティセンターZEL主
催により、HIV 陽性者と語ろうが開催され、当会からミツ
ルさんがオンラインで登壇しました。今回は初のオンライ
ン開催となり、長野県から参加された方もいらっしゃいま
した。普段なかなか聞くことのないHIV 陽性者の生活など
をお話ししました。

HIV 陽性者と語ろう
2022年
10月1日(土)
19:00～20:30
Online
オンライン

HIV 陽性者のゲストをお迎えして
HIV/AIDS に関する
素朴な疑問に答えていただきます。
Uchi についてどう思う？
陽性者生活でどんな話が出るの？
HIV の薬と飲み合わせで気を付けることは？
などなど、
よくある疑問から、ちょっぴりディープな話まで、
ゲストの方と華盛に語り合います。

ゲスト
レッドリボンさっぽろ
ミツルさん

ZOOM
ミーティング ID 874 5483 4136
パスコード ZEL1001

ZEL からの参加も可能です。
オンライン参加がない方は ZEL にお集まりください。
community center ZEL
仙台市青葉区広瀬町 3-3-5 リスズビル 9F

community center ZEL は HIV / AIDS の啓発活動を目的とした
NPO 法人です。

Red Ribbon ZEL

6. さっぽろレインボープライド参加

9月17日（土）～9月18日（日）実施。
9月17日（土）は歩行者天国となった南1条通
の西3丁目にブースを出展し、コンドームなどの
配布と性に関するアンケートを実施しました。
総動員数は14,500人（さっぽろレインボープ
ライド実行委員会発表）
また、さっぽろレインボープライドHPに下のバ
ナー広告も掲載しました。



7. 札幌市ゲイ・バイ男性向けエイズ検査会協力（広報・相談員派遣）

9月25日（日）10:00～16:00

札幌市白石区保健センターにて実施

例年さっぽろレインボープライド関連イベントとして開催。毎年レッドリボンさっぽろでは、検査会の広報と、検査会へ相談員の派遣を実施しています。

2022年度についてはコロナ禍直前の2019年度と同じ10:00～16:00で実施をしました。受検者数44名、相談件数はこれまでで一番多い4件となりました。



8. ラジオ出演

STV ラジオにて好評放送中の『Knock on the Rainbow』 11月26日（土）放送にミツルさんがゲストとして出演し、HIV陽性者として自身の話や治療の話、陽性者が抱える課題などをお話しました。

また、5月6日のゴムの日、12月の世界エイズデーに合わせて、事務局長の沼田が5月と11月に札幌市内の三角山放送局の「にじいろスマイルラジオ」および11月24日（木）に三角山放送局の「ピンクリボン in Sapporo」に出演し、基礎知識の話やU=Uなどの最新情報などをお話しました。



9. にじいろほっかいどう「ゆうそう検査」配布協力

厚生労働省研究班の研究事業の一環としてHIV検査キットを配布するという事業を2022年も実施しました。

北海道内ではLGBTに関する活動団体「にじいろほっかいどう」が請け負い、札幌市の一部及び旭川市・函館市に加え、新たに室蘭市での配布を、レッドリボンさっぽろが協力して実施し、広大な北海道の予防啓発の一助となりました。

実施日：8/28 室蘭市内

9/3・9/4 札幌市内

9/10・9/11 函館市内

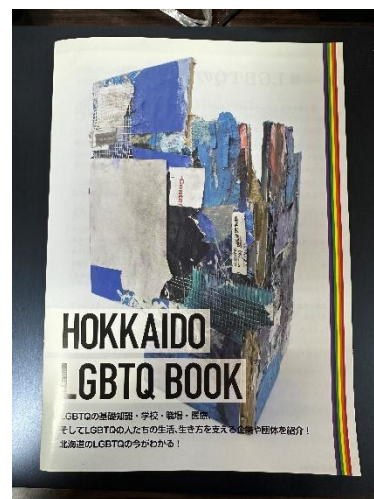
10/1・10/2 旭川市内

検査キットはにじいろほっかいどうとあわせて、北海道内で224名に配布しました。

また、研究班の班会議が3月に東京で開催され、事務局から沼田・秋山で参加しました。

10. HOKKAIDO LGBTQ BOOK 製作協力

北海道 LGBT ネットワークのメンバーでもあるにじいろほっかいどうよりお声がけいただき、北海道 LGBT ネットワークにて製作した HOKKAIDO LGBTQ BOOK にレッドリボンさっぽろを掲載していただきました。この冊子には北海道内の LGBTQ+ の各団体が掲載されているほか、医療者との対談なども掲載されています。



11. 第36回日本エイズ学会への参加

現地開催・ライブ配信：11月18日(金)～11月20日(日)
オンデマンド配信：12月1日～12月20日

2022年度も現地開催も合わせたハイブリッド開催となりました。2022年度はMSM研究班から旅費の支援をいただき、1名が現地で参加し、昨年までと同様に事務所でオンライン視聴を行いました。



12. 日本性感染症学会北海道支部総会・学術集会への参加

日本性感染症学会北海道支部総会・学術集会が6月25日(土)に開催され、当会からは事務局長の沼田が参加しました。



13. 北海道の HIV/AIDS の感染状況・検査の実情（ギリアドサイエンシズ様主催）

抗 HIV 薬を製造・販売するギリアドサイエンシズ株式会社が主催した『北海道の HIV/AIDS の感染状況・検査の実情』ラウンドテーブルが、11/7 札幌パークホテルで開催されました。北海道内での HIV に対する差別・課題を解決するため、道内の医師・HIV 関連団体に加え、道議会議員・札幌市議会議員・地方公共団体職員などが参加しました。

当会からは事務局長の沼田が、当会の活動紹介とサークルさっぽろ・にじいろほっかいどうとの連携等について発表しました。（画像は当日会場に設置された頭でっかき解消ボックスと会場の様子）



14. 世界エイズデーをきっかけに～コミュニティセンター&居場所をつなぐ～出演

12/1 の世界エイズデーに合わせて実施されている TOKYO AIDS WEEKS 関連イベントの一つとして、HIV 支援団体である認定 NPO 法人ぷれいす東京が 12/3 に『世界エイズデーをきっかけに～コミュニティセンター&居場所をつなぐ』というオンライン番組を配信し、レッドリボンさっぽろも出演いたしました。HIV 関連団体だけではなく全国で LGBT 当事者の居場所作りを進めている団体の紹介をする内容で、生配信の他、Youtube のぷれいす東京チャンネルにてアーカイブ配信されており、4/16 現在で約 270 回再生されています。



15. HIV 検査相談担当者研修会

社会福祉法人はばたき福祉事業団北海道支部が主催した HIV 検査相談担当者研修会が 12/10（土）にオンラインと会場参加のハイブリッド形式で開催され、当会からは相談員の秋山と長谷川が参加しました。

16. Sexual Health Room -医療口座- への参加

PrEP の初心者向け基礎知識 講演会が北海道 LGBT ネットワークの主催により 1 月 21 日（土）に開催され、当会からは沼田と秋山で参加しました。PrEP の知識については今年から札幌で PrEP の処方をはじめられた『宮の森レディースクリニック』の池田詩子先生が、性感染症については札幌中央病院泌尿器科医の市原浩司先生講師でお話いただきました。本講演にあたり当会から PrEP in Japan 作成の「日本における HIV 感染予防のための曝露前予防（PrEP）」の利用の手引き、および利用者ガイドをご提供しました。



17. LGBTQ+の人々を自殺の危機から救うために への参加

10 月 9 日（日）に、にじいろほっかいどうと、プライドハウス東京が主催で開催されたネットワーク会議「LGBTQ+の人々を自殺の危機から救うために」が開催され、札幌こころのセンター様や北海道いのちの電話様などが登壇されました。当会からは秋山と小笠原が参加をし、相談において心がけていることなど貴重なお話を伺うことができました。



18. 『性の多様性』セミナー への参加

9月16日(金)に一般社団法人gid.jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会/北海道支部主催により、『性の多様性』セミナーが開催され、トランスジェンダー当事者の遠藤まめたさんと、GID認定医である池田^{ひろし}官司先生からご講演頂きました。当会からは沼田と秋山が参加しました。



19. イルファア釧路主催『師走講演会』への参加

イルファア釧路が例年実施している師走講演会が12月11日(土)にオンライン開催され、モヨチルドレンセンターの佐藤南帆さんとイルファアの創設者で、医師の稲田頼太郎さんからケニアの現状やまだまだ医療が行き届いていないケニア西部についてお話しいただきました。当会からは沼田と秋山が参加しました。



20. 札幌市エイズ対策推進協議会出席

2月21日(火)札幌市保健所において札幌市エイズ対策推進協議会が開催され、委員である事務局長の沼田が出席しました。今回は対面での開催となり、札幌市における現状や2022年度の取り組みなどについて報告がありました。

21. 札幌市さぼーとほっと基金パンフレットラック配架

2022年度もイオンモール札幌苗穂店・イオンモール発寒店に設置をしました。

2020年度から実施していた、はたらく細胞小冊子の封入はご提供いただいたギリアド・サイエンス様と出版社とのライセンス契約終了に伴い2022年7月をもって終了しました。



発寒店の様子

苗穂店の様子

22. ホームページ・ブログ・Twitter・Facebookの定期更新

レッドリボンさっぽろでは独自ドメインを取得し、ホームページの製作は他社に委託せず全て自らが作成しています。

HP・ブログ・Twitter・Facebookを定期的に更新し、イベントなどの情報を発信しています。



23. 札幌市内にある民間 HIV 検査施設「サークルさっぽろ」協力

レッドリボンさっぽろでは 2007 年に開設した民間 HIV 検査施設「サークルさっぽろ」の広報担当をしており、レッドリボンさっぽろの HP にはバナーを掲載しています。また、開設以来ボランティアスタッフの派遣の協力もしています。



24. 事務所 PC および各種ソフトの更新

公益財団法人コープさっぽろ社会福祉基金様より 10 万円の助成金をいただき、事務所 PC を購入したほか、日本 NPO センターのパソコンソフト寄贈プログラム『techsoup』(テックスープ) を活用し Word・Excel・PowerPoint が利用できる『Microsoft Office 2016 スタンダード』と、NPO 向けの会計ソフトである『会計王』を購入しました。

